

SYSTEM 55

Complete "System 55" Modular Synthesizer with 38 Modules,
MIDI-to-CV Converter and 2 EURORACK GO cases

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

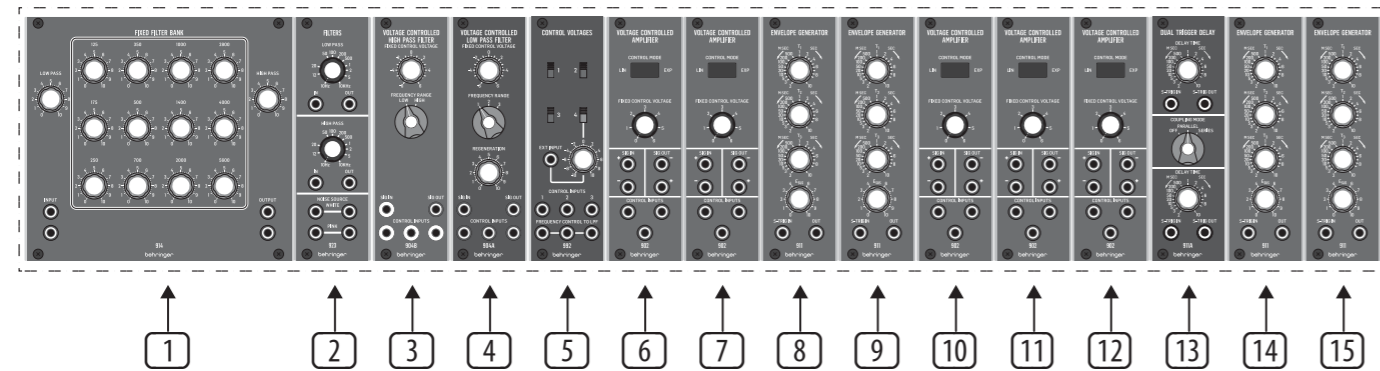
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

Modules

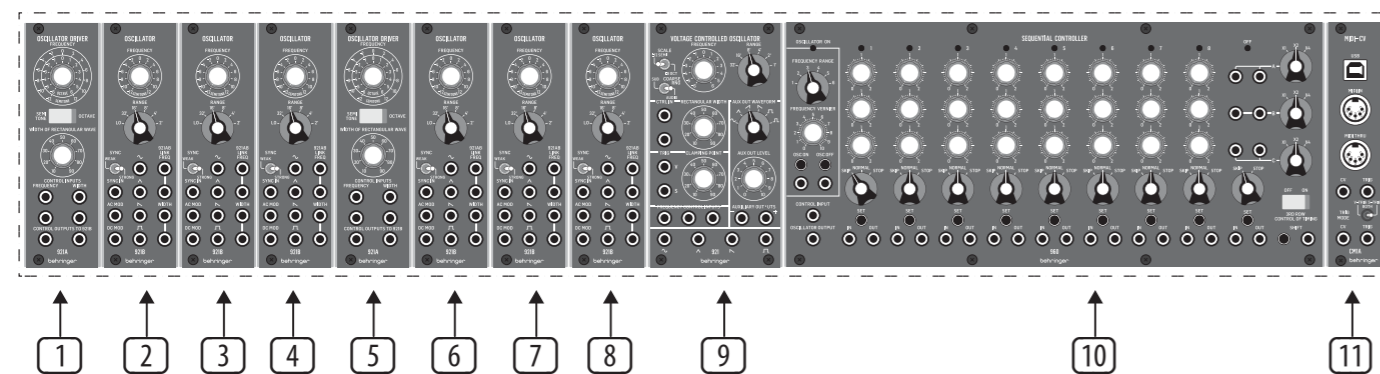
Your System 55 has three rows of modules



Top Row

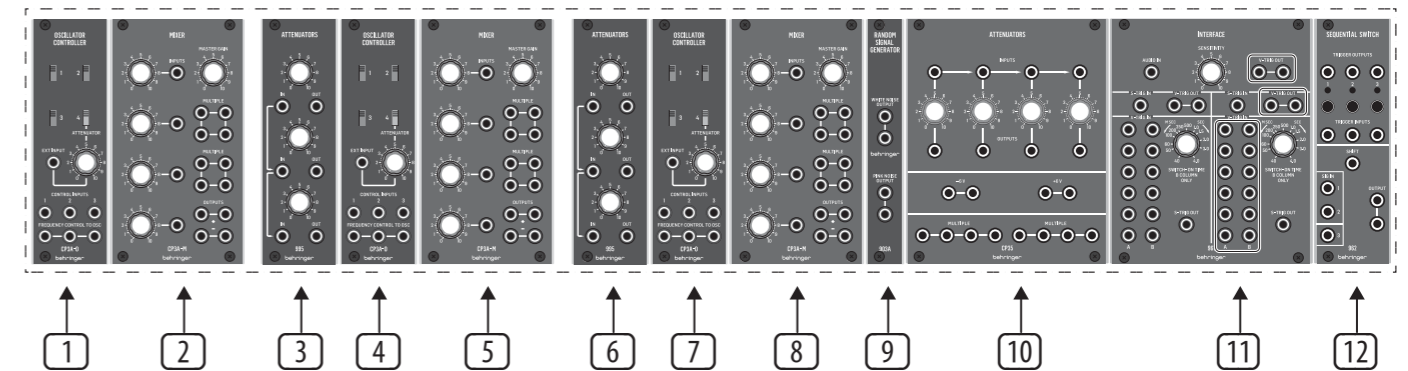
- ① 914 Fixed Filter Bank (FFB).
- ② 923 Filters and Noise Sources.
- ③ 904B High Pass Filter (HPF).
- ④ 904A Low Pass Filter (LPF).
- ⑤ 992 Control Voltages.
- ⑥ & ⑦ / ⑩ - ⑫ 902 Voltage Controlled Amplifiers (VCA).
- ⑧ & ⑨ / ⑭ & ⑮ 911 Envelope Generators (EG).
- ⑬ 911A Dual Trigger Delay (DTD).

Middle Row



- ① & ⑤ 921A Oscillator Driver.
- ② - ④ / ⑥ - ⑧ 921B Voltage Controlled Oscillators (VCO).
- ⑨ 921 VCO/LFO.
- ⑩ 960 Sequential Controller.
- ⑪ CM1A – MIDI interface.

Bottom Row



- ① / ④ / ⑦ CP3A – O.
- ② / ⑤ / ⑧ CP3A – M.
- ③ & ⑥ 995 Attenuators.
- ⑨ 903A Random Signal Generator.
- ⑩ CP35 Attenuator / Voltage Source / Multiple.
- ⑪ 961 Interface.
- ⑫ 962 Sequential Switch.

Further information on all modules can be found on their individual Quick Start Guides at www.behringer.com/downloads.html

電力要件

外部電源アダプター (付属のアダプターのみを使用)	13 VDC, 5A
消費電力	最大 65 W

System 55 - はじめに

ハードウェアセットアップ

各パッチの表記に従い、システム内の接続をすべて済ませます。接続作業中は System 55 の電源はまだ入れないでください。サウンドシステムがオフになっていることをご確認ください。

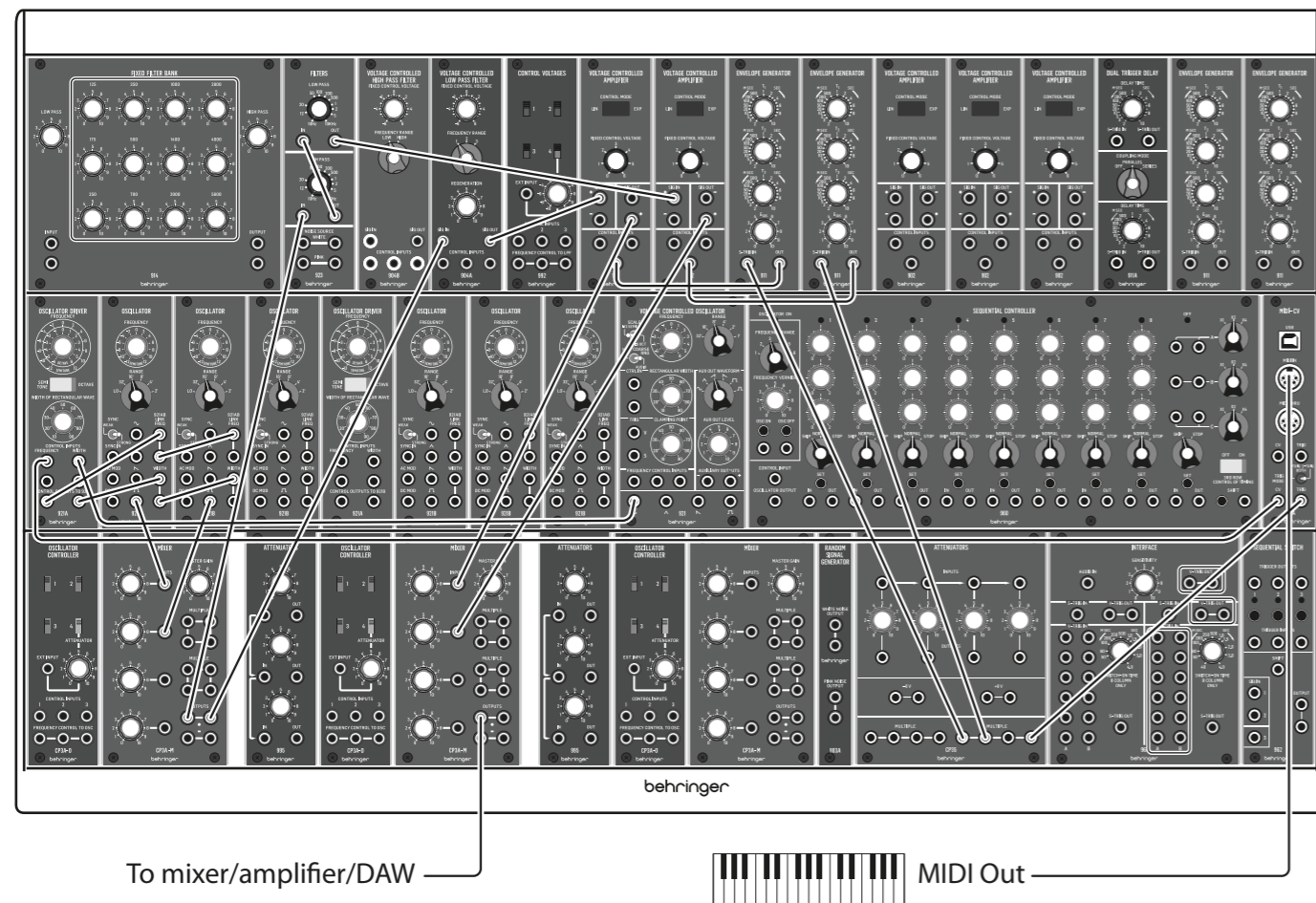
System 55 の電源は、パワーアンプリファァーよりも先にオンにし、電源を落とす時は最後にオフにします。それにより、スピーカーへのポップ音や衝撃音を防ぎます。

ウォームアップ時間

System 55 をレコーディングやライブパフォーマンスにご使用になる前に、30 分以上のウォームアップ時間を設けてください (低温の場所から運び込んだ場合はさらに延長してください)。それにより精密回路が通常使用温度に達し、正確な性能を發揮します。

3番目の要素は、キープレスによるアンチューンドパーカッシブサウンドです。これは923のピンクノイズと904B HPFにより生成されます。エンベロープ設定はT1(アタック)とT3(リリース)およびE sus(サステイン)を最小に、T2(ディケイ)を5msにします。この要素は、ミックスでは控えめにしてください。

エクスプレッシブリード #2



このサウンドでは、パルス幅モジュレーションをオシレーター 2つに使用し、一方を少しデチューンしてサウンドを太くします。

ボルテージコントロール (ピッチ)

ソース	送信先
外部 MIDI キーボード - MIDI 出力	CM1A MIDI インターフェース MIDI IN (MIDI 入力)
MULTIPLE 経由 CM1A CV OUT (出力)	921A FREQUENCY INPUTS (周波数入力)
921A FREQUENCY OUTPUTS (周波数出力)	921B FREQUENCY LINK (周波数リンク-直列)

オーディオ

2 x 921B スクエア波出力	CP3A-M INPUTS (入力) 1 および 2
MULTIPLE 経由 CP3AM OUTPUTS (出力)	904A SIG IN (信号入力) および 923 HPF SIG IN
923 HPF SIG OUT (ハイパスフィルター信号出力)	923 LPF SIG IN (信号入力)
904A SIG OUT (信号出力)	1 番目の 902 SIG IN (信号入力)
923 LPF OUT (ローパスフィルター出力)	2 番目の 902 SIG IN (信号入力)
2 x 902 SIG OUT (信号出力)	2 番目の CP3A-M MIXER INPUTS (入力) 1 および 2
2 番目の CP3A-M OUTPUTS (出力)	ご使用のミキサー/ アンプリファア/DAW

ボルテージコントロール (アンプリチュード)

MULTIPLE 経由 CM1A S-TRIG OUT (S トリガー出力)	2 x 911 S-TRIG IN (S トリガー入力)
2 x 911 OUT (出力)	2 x 902 CONTROL INPUTS (コントロール入力)

ボルテージコントロール (モジュレーション)

921 サイン波出力	921A WIDTH 入力 (幅入力)
921A WIDTH リンク (幅リンク)	2 x 921B WIDTH リンク (幅リンク-直列)

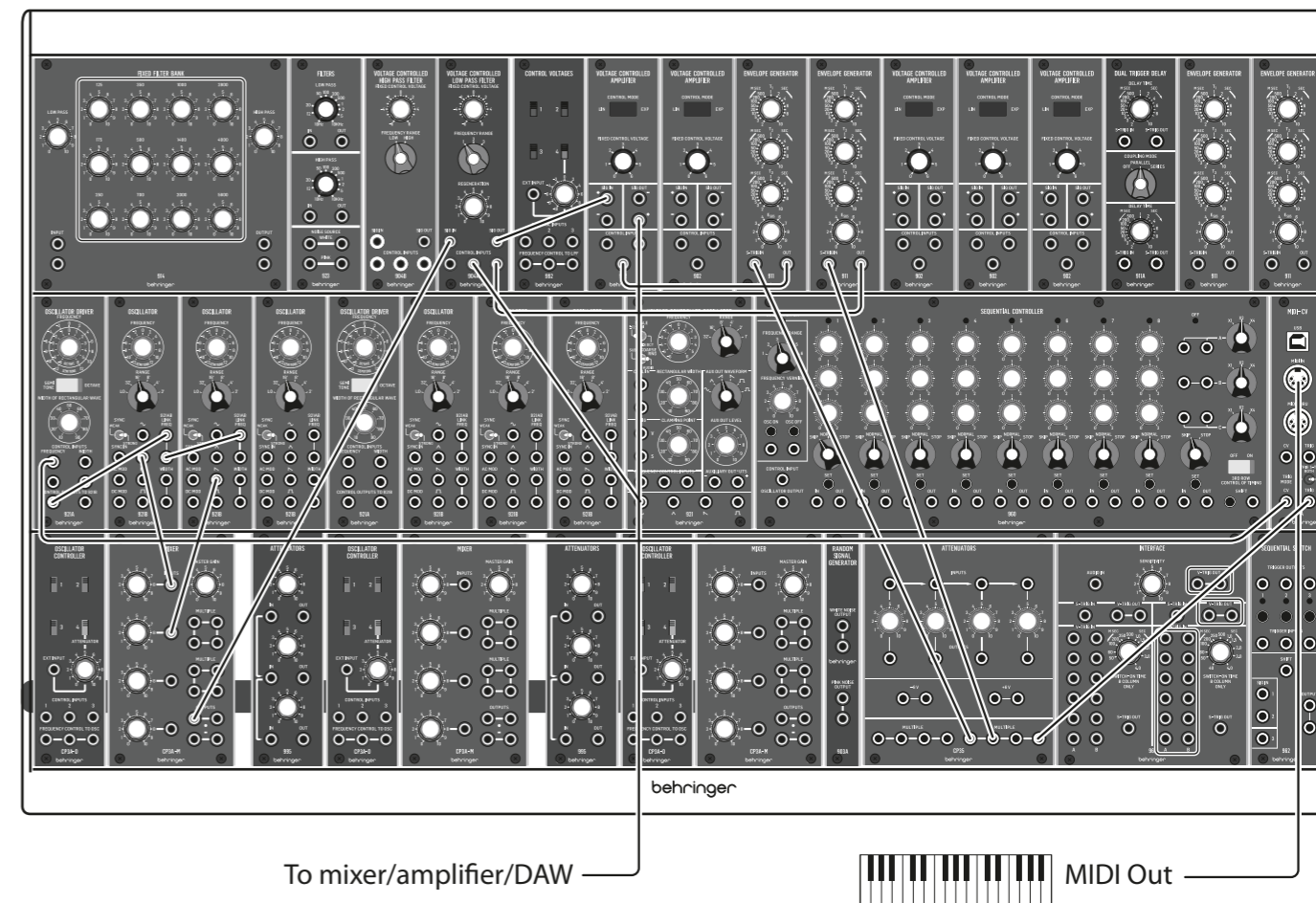
デチューンした 921B VCO によりサウンドは太くなり、921 のサイン波のスピードでコンスタントに音色が変化します - 921 は Sub モードにし、スピードは随意に調節します。

サウンドの主な部分は 904A LPF が担い、FIXED CONTROL VOLTAGE (固定コントロールボルテージ) および REGENERATION (リジェネレーション) は、狙いに沿うよう随意に設定します。サウンドの 2 つ目の部分は 923 フィルターのバンドパス効果です。

911 EG の設定は、基本的にはサウンドの主要部分に合わせて調節しますが、推奨は T2 (ディケイ)、T3 (リリース)、および E sus (サステイン) を中〜高めに設定することです。サウンドの 2 つめの部分では T2 (ディケイ) を短めに、T3 (リリース) および E sus (サステイン) は最小限にします。

最終ミックスでは、2 つ目の部分の音量は低めにします。

パーカッシブリード



ハードなフロントエンドと、音色の変化を持つ、シンプルで、2つのオシレーターによるリードサウンドで、メロディックなシーケンスに最適。

ボルテージコントロール (ピッチ)

ソース	送信先
外部 MIDI キーボード - MIDI 出力	CM1A MIDI インターフェース MIDI IN (入力)
CM1A CV 出力	921A FREQUENCY INPUTS (周波数入力)
921A FREQUENCY OUTPUTS (周波数出力)	921B FREQUENCY LINK (周波数リンク- 直列)

オーディオ

1 番目の 921B 三角波出力	CP3A-M MIXER INPUTS (ミキサー入力) 1
2 番目の 921B ノコギリ波出力	CP3A-M MIXER INPUTS (ミキサー入力) 2
CP3A-M OUTPUTS (出力)	904A SIG IN (信号入力)
904A SIG OUT (信号出力)	902 SIG IN (信号入力)
902 SIG OUT (信号出力)	ご使用のミキサー/ アンプリファー/DAW

ボルテージコントロール (アンプリチュード)

MULTIPLE 経由 CM1A S-TRIG OUT (S トリガー出力)	2 x 911 S-TRIG IN (S トリガー入力)
1 番目の 911 OUT (出力)	902 CONTROL INPUTS (コントロール入力)

ボルテージコントロール (モジュレーション)

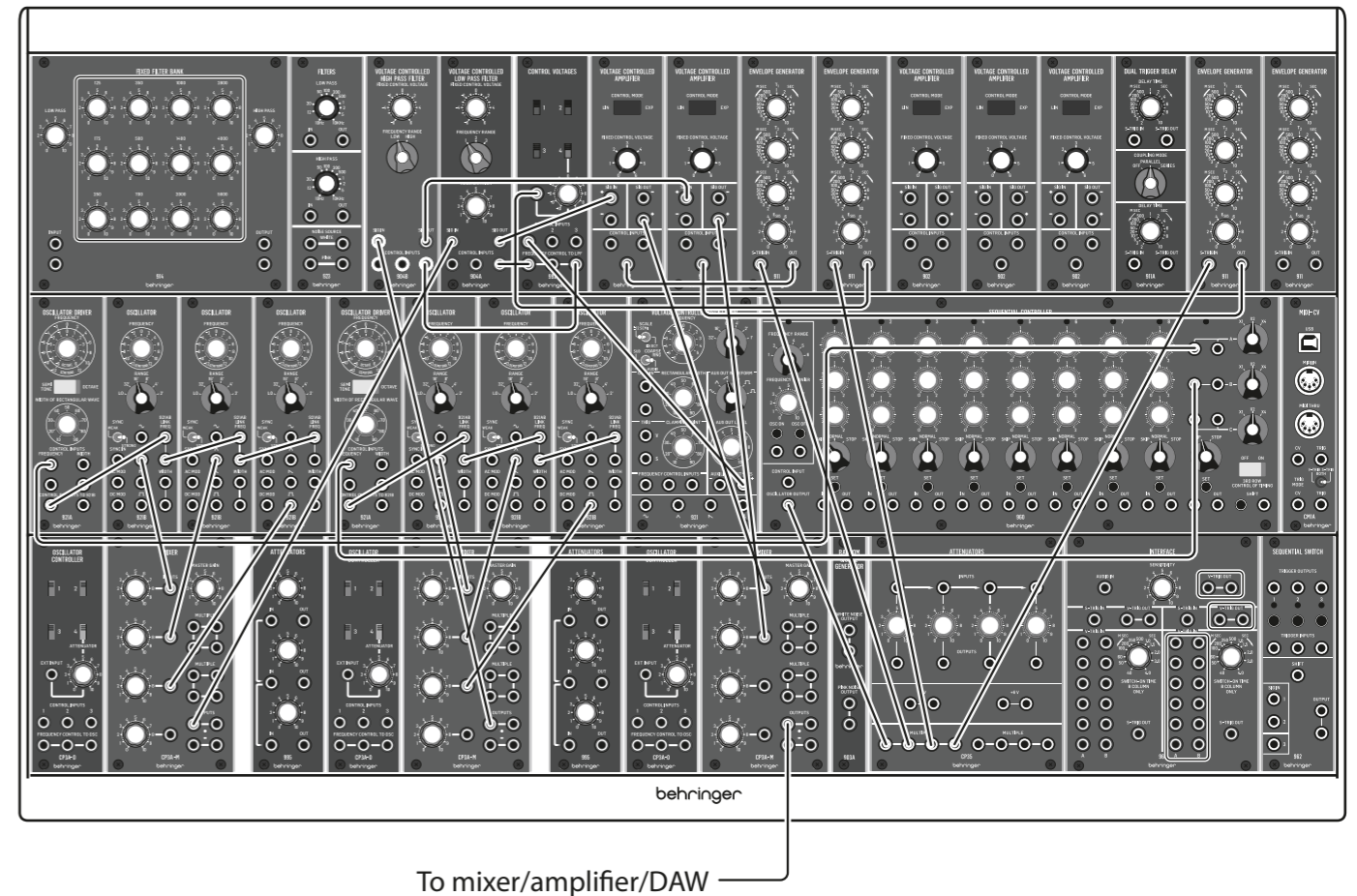
921 サイン波出力	904A CONTROL INPUTS (コントロール入力)
2 番目の 911 OUT (出力)	904A CONTROL INPUTS (コントロール入力)

このサウンドでは 2 つの 921B VCO を異なる波形で使用し、一方をわずかにデチューンすることで最高の効果が得られます。両方とも 904A LPF にフィードし、必要に応じて、相対的なレベルを CP3A-M ミキサーで調節します。904A の出力は 902 VCA にフィードし、そのアンプリチュードを最初の 911 EG で制御します。

パーカッシブなエッジを得るには、この 911 を T1 (アタック) 2 ms、T2 (ディケイ) 200 ms、T3 (リリース) 200 ms、E sus (サステイン) 4 秒に設定します。

904A は 921 LFO の緩慢なサイン波と 2 番目の 911 EG により変調しますが、その設定は大体 T1 (アタック) 1 秒、T2* (ディケイ) 50 ms、T3 (リリース) 4 秒、E sus (サステイン) 9 にします。

ハーモニックシーケンス



このパッチでは、960 SEQUENTIAL CONTROLLER (シーケンシャル コントローラー) で、倍音の相関する 2 つの 8 ノートシーケンスを演奏します。A 列で 921A/921B の第 1 ブロックを制御します; そして B 列で第 2 ブロックを制御します。C 列は使用しません。

ボルテージコントロール (ピッチ)

ソース	送信先
960 A 列 OUT (出力)	左側の 921A FREQUENCY INPUTS (周波数入力)
960 B 列 OUT (出力)	右側の 921A FREQUENCY INPUTS (周波数入力)
921A FREQUENCY OUTPUTS (周波数出力)	921B FREQUENCY LINK (周波数リンク- 直列)

オーディオ

921B 波形出力 (3/4 種類)	CP3A-M INPUTS (入力)
左側の CP3A-M OUTPUTS (出力)	904A SIG IN (信号入力)
中央の CP3A-M OUTPUTS (出力)	904B SIG IN (信号入力)
904A SIG OUT (信号出力)	1 番目の 902 SIG IN (信号入力)
904B SIG OUT (信号出力)	2 番目の 902 SIG IN (信号入力)
両 902 の SIG OUT (信号出力)	右側の CP3A-M INPUTS (入力)
右側の CP3A-M OUTPUTS (出力)	ご使用のミキサー/ アンプリファー/DAW

ボルテージコントロール (アンプリチュード)

960 OSCILLATOR OUTPUT (オシレーター出力 Vトリガー)	961 インターフェース V-TRIG IN (Vトリガー入力)
961 INTERFACE (インターフェース) S-TRIG OUT (Sトリガー出力)	MULTIPLE (マルチプル)
MULTIPLE (マルチプル) 出力 (うち3つ)	3 x 911 S-TRIG IN (Sトリガー入力)
2 x 911 OUT (出力)	2 x 902 CONTROL INPUTS (コントロール入力)

ボルテージコントロール (モジュレーション)

3 番目の 911 の OUT (出力)	992 CONTROL VOLTAGES (コントロール ボルテージ) INPUTS (入力) 4
921 AUX サイン波出力	992 CONTROL VOLTAGES (コントロールボ ルテージ) INPUTS (入力) 1
992 CONTROL VOLTAGES (コントロール ボルテージ) 出力 (うち 2つ)	904A & 904B CONTROL INPUTS (コントロール入力)

A 列 で制御している 921A/B は 1 台目の CP3A-M ミキサーを通じて 904A LPF ヘフィードされ、921B のレベルを調節可能です; B 列で制御している方も、同様にミックスされて 904B HPF ヘフィードされます。

2 つのフィルターの各出力は 902 VCA ヘフィードします。これらは 2 台の 911 EG によって制御されています。変調に使用しているこれらと 3 番目の 911 は、S-TRIG (Sトリガー) を、961 インターフェースから MULTIPLE (マルチプル) を通して受信します。961 は V-TRIG (V トリガー) を 960 の Osc Out (オシレーター出力) から採用し、コンバートします。

Sub に設定した 921 LFO の AUX 出力は 992 CONTROL VOLTAGE インターフェースの 1 番目の入力にフィードします。上述の 3 番目の 911 は 4 番目の (アッテネート) 入力にフィードします。992 の出力は両フィルターの CONTROL INPUT (コントロール入力) にフィードします。

生成されるエフェクトは、1 つのシーケンスはフィルターが開くにつれて大きくなる一方、もう一方は静かになり、両者の位置をスワップします。フィルターの FIXED VOLTAGE (固定ボルテージ) と 3 番目の 911 のアッテネーションを変更すると、効果が変化します。

別の方法として、960 の C 列で 3 番目の 911 を置き換える; もしくは別のモジュレーションソース 2 つと一緒に使用します。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You